

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立東中学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

○組織的な取り組み

生徒との校内研究のテーマ「めざす生徒の姿」の共有・日常化

- ・生徒に校内研究のテーマと「めざす東中生の姿」を説明することで、目的やめざす具体的な姿を周知する。校内での掲示や学習図書委員会との連携、授業だけでなくあらゆる活動（生徒会活動・短学活・日記指導）に取り入れることで、生徒が日常的・主体的に取り組むための意識付けをし、取り組みを共有する。
- ・事務所訪問等の外部評価や各種学力テストの結果と分析、今までの学習の成果や改善のための取り組みを、全校集会や各教科で生徒と共有することで、生徒が主体的に学習に取り組むための意識付けをする。
- ・「生徒と共に創る授業評価アンケート」の項目を「先生は～」と「私は～」で設定することで、教師と生徒の両者の取り組みを振り返ることができるようにする。

主体的に安心して学びに向かうための人間関係づくり

- ・生徒指導主事による人間関係づくりプログラムの校内研修や、生徒会執行部へのリーダー研修を実施して活動の目的やねらう効果を明確にすることで、毎週水曜日の短学活での活動や毎月の全校集会での人間関係づくりプログラムを充実させ、「自ら学び、共に学び合う生徒」の礎を築く。



「めざす生徒の姿」を
学校中に掲示

学力調査の結果を見て
感想を発表する生徒



全校集会での
人間関係づくり
プログラム

取組の具体②

○「生徒と共に創る授業」として生徒会活動との連携

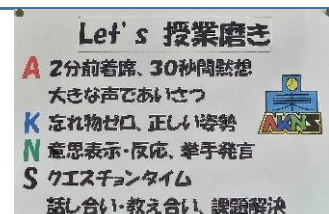
学習図書委員会の活動

- ・「Let's 授業磨き」・・・授業磨きの意識を高め、より良い授業にする活動。帰りの学活で、その日の結果を総括をし、次の日の授業磨きに生かす。
- ・「Question Time」・・・始業2分前着席し、班やペアで前時や単元の学習内容を出題し合うことで、前時までの復習をして、本時の授業に臨む。
- ・「Share week」・・・教え合い、話し合いの活動を重点的に活発に行うことで、考えを自分の言葉で根拠をもって、伝わりやすく表現しようとする意欲や能力を養う。また、考えを「Share」することで、いろいろな考えを取り入れ、視野を広げたり考えを深めたりすることによって、再考する機会を意識してもつ1週間。
- ・「生徒と共に創る授業評価アンケート」の分析と活動の見直し・・・生徒自身に関するアンケート項目の結果分析をすることで、自分やクラスの取り組みを見直し、課題の改善を図るための活動を考えたり、「Let's 授業磨き」の項目の見直しをしたりする。
- ・「めざす生徒の姿に関するアンケート」の実施・・・授業以外の「あらゆる場面」での取り組みについて、アンケートを実施し、結果を分析することで、自分やクラスの取り組みを見直し、課題の改善を図る活動を考える。

生徒会活動のあらゆる場面で

- ・全校集会での発表・・・根拠を明確にするために数値を示し、伝わりやすい工夫として内容を視覚化して、先月の振り返りをする。
- ・生徒会役員選挙の公約・・・根拠を明確にするために三角ロジックを使用。

「Let's
授業磨き」



「Share
week」

全校集会での
振り返り
意識した先月の
「伝わりやすさ」を



根拠を明確にした
候補者の公約